

ひろさき美術館 3

弘前駅

中央弘前駅

コラボ + コラボ + コラボ

午前 11 時 - 午後 7 時
※各 PART の最終日は 17:00 までにあります。

ギャラリーまんなか
(弘南鉄道大鰐線中央弘前駅 駅舎内)

PART.1 | 絵画 × サウンドインスタレーション
9月1日[土] - 9月9日[日]

PART.2 | 彫刻 × 建築
9月11日[火] - 9月17日[月・祝]

PART.3 | アッサンブラージュ × アッサンブラージュ
9月19日[水] - 9月24日[月・祝]

入場無料

○平成 30 年度弘前市市民参加型まちづくり 1% システム対象事業です。
主催：弘前アートプロジェクト実行委員会

私たち弘前アートプロジェクト実行委員会は、『ひろさき美術館 3-コラボ × コラボ × コラボ-』を開催します。『ひろさき美術館』の企画としては、'マレビトの祀り' (2016年)、『Silent Studies』(2017年)に続く第3弾となります。本展では、約1ヶ月の会期を3つのパートに分け、(Part1: 絵画とサウンドインスタレーション)、(Part2: 建築と彫刻)、とそれぞれ異なる分野で活動する2組のコラボ、また、(Part3: アッサンブラージュとアッサンブラージュ)では、異なる出発点から同じような表現スタイルにたどり着いた二人のコラボを立て続けに展開して行きます。

会場となる「gallery まんなか」は、弘前中心街への入り口として、また、弘前の景観をかたちづくる最も重要な建造物の一つである中央弘前駅舎内のスペースに、この春オープンしました。このギャラリーを運営するのは「まんなかづくり実行委員会」です(弘南鉄道株式会社の全面協力を得ています)。弘前の大学生を中心とし、美術的な視点を通して“弘南鉄道大鰐線の活性化・魅力発信”を目指し活動しています。本展は、アートを通して地域の活性化を図ろうという共通の目的を持つ「まんなかづくり実行委員会」と「弘前アートプロジェクト実行委員会」とのコラボともいえるでしょう。

コラボにより相乗効果が生まれるのか、あるいはハレーションを起こしてしまうのか。何れにせよ、今回の企画は、アーティストにとって刺激的な機会となるでしょう。思ってもみなかった何か新鮮なものが立ち現れてくることを、出展作家、企画者は期待しているところです。そして、コラボから生まれる“わくわく感”が、駅舎のギャラリーから地域へと広がっていくことを切に願っています。

PART.1

9/1(土) - 9/9(日)

畑林和貴 | Kazuki Hatabayashi

1992年 岩手県生まれ
2015年 弘前大学教育学部学校教育教員養成課程美術専攻 卒業
現在 東京芸術大学大学院美術研究科修士課程芸術学専攻在学中
平面作品を中心に制作活動を行なっている。個展「空っぽの時間、はじめがほつれる」茨城/藝大食堂gallery/2017年、グループ展ART EDUCATION EXHIBITION 東京/The Art Complex Center of Tokyo/2018年など個展やグループ展を中心に作品を発表。



everything and nothing

1982年 青森県平賀町(現 平川市)生まれ
2016年 弘前市で音楽活動を始める

Art into Life, meditations, STORE15NOV等のレコードショップに出会い、アンビエントやドローン、ニューエイジ等に影響を受け、楽曲制作を始める。2016年、『1stCDR『two samples』』と1stCASSETTE TAPE/CDR『twilight e.p.』をリリース。YAMAHA QY70のトラックに、サンプリングした自然音をふり掛けて造るアンビエンス。

PART.2

9/11(火) - 9/17(月・祝)

塚本悦雄 | Etsuo Tsukamoto

1962年 熊本県生まれ
1987年 東京芸術大学美術学部彫刻科卒業
1989年 東京芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了
彫刻を中心に制作活動を行なっている。塚本悦雄—ポートレート—展(旧三和化学教材/弘前/2013年)塚本悦雄展—ケイトウ—(メグミオギタギャラリー/東京/2009年)など、個展やグループ展、アートフェアで作品を発表。現在、弘前大学教育学部で教鞭をとる。



蟻塚学 | Manabu Aritsuka

1979年 青森県弘前市生まれ
2002年 広島大学工学部第四類卒業
2008年~ 蟻塚学建築設計事務所代表

建築家。県内外で設計活動を行っている。現在、東北大学、東北芸術工科大学、秋田公立美術大学、八戸工業高等専門学校で非常勤講師を務める。著書に「地方で建築を仕事にする」(共著)。グッドデザイン賞、JIA東北住宅大賞、東北建築賞など受賞多数。

PART.3

9/19(水) - 9/24(月・祝)

木村顕彦 | Akihiko Kimura

1981年 青森県生まれ
2004年 東北生活文化大学生活美術学科卒業
2006年 弘前大学大学院教育学研究科修士「木村顕彦作品展~ガラス絵・陶オブジェ~」(鳴海要記念陶房館)など、個展開催やギャラリーNOVITAでのあかりのあかり展に出品。絵画のみならず、陶器、立体コラージュを手掛ける。また、2017年~2018年月刊弘前コラムとイラスト連載。現在、東奥義塾高等学校にて常勤講師として教鞭をとる。



渡辺由里香 | Yurika Watanabe

1995年 岩手県生まれ
現在 弘前大学在学中

アッサンブラージュや彫刻を中心に制作を行う。ソコニ居ル。展(田中屋画廊/弘前/2017年)、大鰐線×写真展(Galleryまんなか/弘前/2018年)などで作品を発表。まんなかづくり実行委員会副代表としてギャラリー運営を行っている。

〈関連イベント〉

出展作家によるトークセッション

日時: 9月8日 [土] 17:00~

会場: ギャラリーまんなか

申し込み不要、入場無料

[主催] 弘前アートプロジェクト実行委員会

[後援] 国立大学法人弘前大学、弘前商工会議所

[協賛] 弘前市中心市街地活性化協議会

[協力] 弘南鉄道株式会社、

まんなかづくり実行委員会

○平成30年度弘前市市民参加型

まちづくり1%システム対象事業です。



「ギャラリー まんなか」

弘前市大字吉野町 1-6
(弘南鉄道大鰐線中央弘前駅内)



交通案内

●バス: 弘南バス 100円バス『蓬菜橋』下車 /

路線バス『中土手町』下車

●タクシー: JR 弘前駅より約10分

●その他: JR 弘前駅より徒歩約30分

※専用駐車場はございませんので近隣のコインパーキング等をご利用ください。

[お問い合わせ] 弘前アートプロジェクト実行委員会 事務局 (NPO harappa 内) TEL:0172-31-0195 E-mail:post@harappa-h.org

